

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和(元)年度 「Keynote」を使ったオリジナルカレンダー作り
授業について	教科名等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	カレンダーを作ろう
	授業の目標	・タブレット端末の正しい使い方や効果的な活用について知る。 ・タブレット端末を通して、ルールや友だちとの適切な関わりを身に付ける。
	学力の3要素	■「知識及び技能」 ■「思考力・判断力・表現力等」 ■「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (1・2・3)年 (5)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input checked="" type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	■見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと ■話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと ■書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと ■コミュニケーションをすること ■気持ちを表現すること ■落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 ・集中力の持続が困難 ・発音が不明瞭 ・説明を聞いて取り組むことが難しい。 ・興味関心の幅が狭い。 ・自分の気持ちを言葉で表すことが難しい。 ・相手を意識した適切な言動が難しい。 など
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input checked="" type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/> D1実態把握支援) タブレット型端末の正しい扱い方や効果的な使い方について知り、その扱いに慣れるためiPadを活用する。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	支援機器: iPad アプリケーション: Keynote  
授業展開	授業展開・支援の手立て	生活単元学習で、カレンダー作りを行った。 ステップ1: 学級内で一斉にiPadの使い方やルールを知る学習を行った。起動の仕方やアプリの使い方等は、テレビにiPadを直接繋いで見本として提示した。(以後も同様) ステップ2: 「Keynote」で作成した月ごとのカレンダーに、カメラで撮った写真を挿入した。挿入した写真をトリミングしたり、拡大縮小したりしてカレンダーに合わせた。 ステップ3: キーボードの仮名入力を使って、カレンダーに数字や自分の名前を入力した。 iPadでの学習は、一人に1台が基本であり、操作能力にも差が見られるため、個人での学習となりがちであるが、今回は学級5人で同時にiPadでの学習を行い、互いに教え合う環境作りに努めた。分かっている人が教えること、撮った写真や作った作品を「Air Drop」を使って共有することなどによって、相手を意識し、集団でタブレットを使った学習を進めた。 
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	具体的な操作については、個人差はあるものの、教師側がねらった段階「持ち方や使うときの注意点など、扱い方」「カメラアプリの操作」「音声入力でのインターネットの検索方法」「キーパットを使った仮名入力」をほぼ達成することができた。特に音声入力での検索では、明瞭な発音を意識することができ、発音に課題の見られる生徒の学習に役立った。何より、iPad等のタブレット端末を遊びの道具だけではなく、学習に役立つツールの一つとして捉えることができたのではないかと考える。